

奨学生募集要項（2026年度）

No. 539

直接応募（C区分）

奨学団体名 (奨学金名称)	サントリー生命科学財団		
2026 募集人数	11名程度		
募集学年	博士（博士後期）課程 ※2026年秋入学予定者を含む		
募集学部・研究科 研究分野等	理学・農学・工学・薬学・医学等		
財団締切時期	2026年4月22日（水）		
給付	月額 60,000円	貸与	無
授業料相当額支給	無		
(採用時)一時金	無		
併給	一部可	年齢制限	無
就労制限	無	出身地制限	無
その他応募条件	<ul style="list-style-type: none"> ・医学については、臨床医学ならびに臨床薬学等の研究科は対象外 ・日本学術振興会特別研究員DC、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業、JST次世代研究者挑戦的研究プログラム、その他の国立研究開発法人や大学独自の事業による安定的な支援、所属する企業・団体等からの給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている院生、国費留学生は対象外 ・同一の研究科からの採用は1名のみ ・同一の研究室在籍者の連続的な採用は行わない ・他の給付型奨学金との重複受給については、本奨学金と合算して月18万以下となる場合は応募可能 		

1. 応募要領

2026 年度 SUNBOR SCHOLARSHIP（奨学生）応募要領

以下の要領で、2026 年度の SUNBOR SCHOLARSHIP（奨学生）を募集します。

当財団は、「分子を中心に据えた生命現象のメカニズムの解明」を目指して研究活動に取り組んでいます。その活動に加えて、「有機化学、生化学、構造生物学、分子生物学等を基盤に、学際的視野のもとに生命科学の研究を遂行する大学院研究科における学びを支援し、将来、大学、研究機関等のアカデミアにおける研究職・教育職を志す人材を育成する」ことを目的として、大学院生に SUNBOR SCHOLARSHIP 奨学金を支給しています。国内の大学院における理学、農学、工学、薬学、ならびに医学などの研究科を対象とします。ただし、臨床医学ならびに臨床薬学等、疾病の診断・治療や新薬の開発などを目的とする分野ならびに研究内容は選考の対象としません。

対象者：上記に類する研究科専攻に所属し、2026 年度に、博士後期課程（博士課程）に在学もしくは進学が確定している大学院生を対象とします。（2026 年秋に博士後期課程（博士課程）入学予定で、応募時に入学が確定していない学生は事務局に相談してください。）但し、日本学術振興会特別研究員 DC、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業、JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム、その他の国立研究開発法人や大学独自の事業による安定的な支援、または、所属する企業・団体等からの給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている院生、国費留学生は対象外です。同一の研究室からの採用は 1 名のみとし、かつ同一の研究室在籍者の連続的な採用は行いません。複数の応募があった場合、受け付けないので研究室内で調整のうえ、応募ください。なお、2025 年度の奨学生の所属する研究科専攻について財団ホームページ NEWS 欄に掲載しているので参考としてください。

上記プログラム以外の給付型奨学金等との重複について：

奨学金助成機関等が他の奨学金を重複して受給することを禁じておらず、当奨学金との合算で 18 万円/月以下となる場合には応募可能です。RA/TA などで収入がある場合も同等の金額以下の場合には応募可能です。

但し、選考期間中、学振 DC 等上記に記載されたプログラムに採用された場合は、選考対象外とします。また、採択後、支給期間中にこれらのプログラムに採用された場合は、以降の奨学金の支給を停止します。但し、本奨学金採択後に上記プログラム採用により支給停止した場合には追加的措置がありますので、下記の「スタートアップ制度について」をご参考ください

奨学金：2026 年 4 月より、返済を要しない奨学金（月額 6 万円）を支給します。

（2026 年度 4－7 月分は 7 月末にまとめて支給されます。）

1. 応募要領

支給期間：2026年4月1日付の学年に応じて、春期、秋期入学とも、2026年4月から2029年3月まで、返済を要しない奨学金（月額6万円）を最長3年間支給します。自己都合ないし大学院の個別の制度などによる支給期間の延長を認めません。なお、薬学研究科のように4年制の博士課程においても最長3年の支給期間とします【例、春期入学の場合（4年制大学院を含む）2026.4.1付D1：3年間、D2：2年間、D3：1年間。秋期入学の場合。2026.4.1付D1秋：2年半、D2秋：1年半】。

採用人数： 11名程度

応募要領：エントリーシートのwordファイル（SCHOLAR206entry.docx）の例にならって記入し、書類ファイル名を、「SCHOLAR2026_氏名.docx」としてください。なお、教授等の指導教員の推薦状が得られることを前提としますので、応募にあたっては必ず指導教員と相談してください。

エントリーシートは下記リンクからアップロードしてください。

<https://form.run/@jyosei-iBhCpOPFLPLSVBpkWCEw>

英語での応募も可能ですが、英語版の書式はありませんので、ラボで入力支援をお願いします。「研究の概要その他」の欄については1000文字以内（スペース含まず）でお書きください（1000語ではないのでご注意ください。）

問い合わせ：研究奨励助成事業選考委員会事務局 担当：島本啓子

（e-mail：jyosei(at)sunbor.or.jp）（(at)に@を入れて下さい）

SUNBOR SCHOLARSHIP 最終選考時期は7月です。

大学によってJST等のプログラム選考が3～6月と幅がある場合があるようです。一次エントリーの際に、JSTや学振等のプログラムとの重複応募をしても構いません。SUNBOR SCHOLARSHIP 選考期間中に採択が決まった場合には、その時点で辞退を申し出てください。

締切り：2026年4月22日(水) 17:00 (JST) (厳守)

締切り等スケジュール（予定）：

一次エントリー募集：2026年4月1日（水）～4月22日（水）17：00（JST）まで

選考委員会（一次選考）：2026年5月中旬

一次選考結果および二次選考書式通知：2026年5月中旬

二次選考募集締切り：2026年6月初旬

選考委員会（二次選考）：2026年7月初旬

選考結果通知：2026年7月中旬

奨学金支給開始：2026年7月末

1. 応募要領

一次選考結果：応募者本人および教授等の指導教員にメールにて通知します（5月中下旬ごろ）。一次選考結果が5月20日までに届かない場合にはお問合せください。

（jyosei(at)sunbor.or.jpからのメールを受け取れるようにしておいてください。）

二次選考対象者および指導教員には、二次選考の要領を通知し、推薦状書式および自己紹介書書式を同時に送付します。なお、二次選考書類の締切りを6月初旬、結果の通知を7月中旬と予定しています。

選考結果の開示等について：採用と奨学金支給の決定を本人および指導教員に通知するとともに、財団ホームページに、個人名を除き、所属と学年を掲示します。財団の内部資料とするため、支給終了後の進路について問い合わせることがあるので協力をお願いします。

スタートアップ制度について：財団より支給停止となった奨学生が、大学院修了後、大学、公的研究機関等のアカデミックポジションに就いた場合、財団の人材育成事業の理念に基づき、停止した奨学金の合計を上限として研究資金を助成するスタートアップ資金助成制度の対象とします。本制度の詳細については別途該当者にお知らせします。

応募にあたって不明な点があれば、担当の島本（jyosei(at)sunbor.or.jp、電話：070-2288-1374 直通）まで問い合わせてください。

以上